



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,281	0.0	2,784	△2.1	2,951	△1.5	2,083	△0.6
2019年3月期第3四半期	16,279	△0.1	2,844	△11.1	2,995	△10.6	2,096	△10.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,418百万円 (5.4%) 2019年3月期第3四半期 2,295百万円 (△38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	189.74	ー
2019年3月期第3四半期	190.98	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	100,480	45,313	45.1
2019年3月期	97,942	43,278	44.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 45,313百万円 2019年3月期 43,278百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	17.50	ー	17.50	35.00
2020年3月期	ー	17.50	ー		
2020年3月期（予想）				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,624	0.8	3,088	△8.2	3,361	△10.9	2,339	△12.7	213.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,023,228株	2019年3月期	11,023,228株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	45,059株	2019年3月期	45,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	10,978,169株	2019年3月期3Q	10,978,383株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にありましたが、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害の影響により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化および業務の効率化に努めました。

その結果、営業収益は16,281百万円(前年同期比0.0%増 2百万円)、営業利益は2,784百万円(前年同期比2.1%減 60百万円)、経常利益は2,951百万円(前年同期比1.5%減 43百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,083百万円(前年同期比0.6%減 13百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

#### 運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATS工事や常盤平駅および松戸駅の駅舎耐震補強工事をすすめました。また、12月には14年ぶりの新形式となる8000形車両6両1編成を導入いたしました。このほか諸施設のバリアフリー化として、前原駅の多機能トイレ新設工事、ホーム内方線設置工事およびホーム嵩上げ工事をすすめました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差事業につきましては、上り線高架切替工事を実施し、12月1日より上下線とも高架線での運行となりました。また、初富、新鎌ヶ谷、北初富の3駅は新駅舎へと移転いたしました。

営業面につきましては、新京成音楽フェスティバル、お笑い寄席、沿線健康ハイキング、果物狩りなどのイベントの実施、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばし、映画「アナと雪の女王2」のラッピング電車の運行、「改元記念きっぷ」や行楽施設の前売り券の販売などを実施し、旅客誘致と増収に努めました。

バス事業では、環境や高齢者などに配慮した車両へと7両代替したほか、新たに車両を4両導入いたしました。船橋新京成バス株式会社では、広告付き停留所上屋の設置、西白井線や小室線のダイヤ改正、大型商業施設「イオンモール船橋」のシャトルバスの運行などを実施し、松戸新京成バス株式会社では、牧の原線や小金原線のダイヤ改正、大型商業施設「テラスモール松戸」の開業に伴う急行系統の新設などを実施し、お客さまサービスの向上と効率的な運営に努めました。

このほか、5月に一般社団法人千葉県バス協会や千葉県警察本部のご協力のもと、バスジャック対応訓練を両社共同で開催し、危機管理能力の向上に努めました。

なお、消費税率引き上げ相当分の適正転嫁のため、鉄道およびバス運賃の上限変更認可申請を行い、9月にそれぞれ認可され、10月1日に運賃変更を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は12,339百万円(前年同期比1.1%増 130百万円)、営業利益は1,405百万円(前年同期比2.2%増 29百万円)となりました。

#### 不動産業

不動産賃貸業では、8月より八千代市吉橋7街区土地の賃貸を開始したほか、空室へのテナント誘致を積極的にを行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は2,464百万円(前年同期比13.4%減 380百万円)、営業利益は1,275百万円(前年同期比7.5%減 103百万円)となりました。

#### その他

その他(コンビニ事業等)では、6月に新鎌ヶ谷駅、12月に北習志野駅に出店したほか、各種セール、ギフト等のイベントへの取り組みを強化するなど、更なる利便性と収益力の向上を図りました。

このほか、「オープン型宅配便ロッカー」を五香駅東口に設置いたしました。

以上の結果、営業収益は1,570百万円(前年同期比20.0%増 261百万円)、営業利益は84百万円(前年同期比20.4%増 14百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、その他の流動資産の減少等がありましたものの、現金及び預金、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ2,538百万円(前期比2.6%)増加し、100,480百万円となりました。

負債は、買掛金、未払金の減少等がありましたものの、前受金、借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ503百万円(前期比0.9%)増加し、55,167百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,034百万円(前期比4.7%)増加し、45,313百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2019年10月30日に発表いたしました予想数値のとおり概ね推移しており変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,449,283	7,598,123
売掛金	1,294,920	1,091,991
リース投資資産	830,994	822,111
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	34,865	45,488
分譲土地建物	676,845	676,845
原材料及び貯蔵品	440,776	401,522
その他	586,930	254,803
流動資産合計	10,814,616	11,390,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,563,553	21,007,530
機械装置及び運搬具(純額)	4,876,528	5,716,444
土地	10,855,110	10,901,037
建設仮勘定	37,086,673	38,004,716
その他(純額)	652,048	980,313
有形固定資産合計	75,033,913	76,610,042
無形固定資産		
その他	735,916	678,006
無形固定資産合計	735,916	678,006
投資その他の資産		
投資有価証券	10,803,134	11,272,093
繰延税金資産	230,544	199,422
退職給付に係る資産	191,755	186,905
その他	132,865	143,493
投資その他の資産合計	11,358,300	11,801,916
固定資産合計	87,128,130	89,089,964
資産合計	97,942,747	100,480,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,147,117	565,951
短期借入金	2,899,990	2,964,950
未払金	4,125,564	2,084,113
未払法人税等	593,255	266,440
前受金	30,471,170	33,075,375
賞与引当金	485,451	217,603
その他	2,967,649	3,196,532
流動負債合計	42,690,198	42,370,965
固定負債		
長期借入金	5,236,900	5,879,550
繰延税金負債	1,236,101	1,430,320
退職給付に係る負債	3,354,347	3,392,348
その他	2,146,229	2,094,351
固定負債合計	11,973,577	12,796,570
負債合計	54,663,775	55,167,536

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,519	4,774,522
利益剰余金	27,631,759	29,330,551
自己株式	△84,101	△84,146
株主資本合計	38,258,118	39,956,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,215,347	5,514,472
退職給付に係る調整累計額	△194,493	△158,026
その他の包括利益累計額合計	5,020,853	5,356,446
純資産合計	43,278,971	45,313,314
負債純資産合計	97,942,747	100,480,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	16,279,016	16,281,946
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,585,833	12,617,636
販売費及び一般管理費	848,207	879,414
営業費合計	13,434,040	13,497,051
営業利益	2,844,975	2,784,894
営業外収益		
受取利息	80	142
受取配当金	62,975	75,126
持分法による投資利益	127,270	144,638
その他	57,618	33,789
営業外収益合計	247,944	253,698
営業外費用		
支払利息	97,441	85,951
その他	99	840
営業外費用合計	97,541	86,792
経常利益	2,995,378	2,951,800
特別利益		
工事負担金等受入額	93,026	182,320
持分変動利益	—	6,792
特別利益合計	93,026	189,113
特別損失		
固定資産圧縮損	93,026	182,320
特別損失合計	93,026	182,320
税金等調整前四半期純利益	2,995,378	2,958,592
法人税、住民税及び事業税	810,882	791,913
法人税等調整額	87,842	83,651
法人税等合計	898,724	875,564
四半期純利益	2,096,653	2,083,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,096,653	2,083,028

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,096,653	2,083,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,789	288,841
退職給付に係る調整額	25,159	36,467
持分法適用会社に対する持分相当額	△357	10,283
その他の包括利益合計	198,591	335,593
四半期包括利益	2,295,245	2,418,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,295,245	2,418,621
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,193,654	2,781,433	14,975,088	1,303,927	16,279,016	—	16,279,016
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	15,934	63,681	79,616	4,935	84,551	△84,551	—
計	12,209,589	2,845,115	15,054,705	1,308,862	16,363,567	△84,551	16,279,016
セグメント利益	1,375,110	1,378,556	2,753,667	70,297	2,823,964	21,010	2,844,975

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等  
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,323,441	2,389,021	14,712,462	1,569,483	16,281,946	—	16,281,946
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	16,372	75,899	92,271	885	93,156	△93,156	—
計	12,339,813	2,464,920	14,804,734	1,570,368	16,375,102	△93,156	16,281,946
セグメント利益	1,405,004	1,275,206	2,680,210	84,654	2,764,864	20,030	2,784,894

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等  
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。